

委員会だより

<4月2日(日) 12名出席>

【1】財務報告：00年3月度決算報告(詳細略)

- ◆一般会計：神父様に特別献金¥122,000を頂いた。婦人会より特別献金¥6,555(マグロ売上)を頂いた。

【2】議題：

- ◎ 4月9日堅信式ミサ進行について：
 - ◆ミサ時間：10時開
 - ◆進行係は萩原さんで、侍者は島倉君と松下君、朗読は石井君にお願いする。
 - ◆オルガン奏者は大宮さんにお願いする。
- ◎ ミサ後のパーティについて：
 - ◆進行係は井上さんに、写真係は石井さんにお願いする。
 - ◆司教様への挨拶は花坂委員長に、終わりの挨拶は阿部副委員長に、堅信者代表挨拶は位田さんが人選、依頼する。
- ◎ 堅信者は大人が3名、高校生以下が8名の合計11名で、鍛冶谷教会の方が1名含まれる。
 - ◆堅信の御礼は、受堅者は1名あたり3,000円と、教会補助を加えて、合計5万円を司教様に差し上げる。
 - ◆お土産として日本酒を差し上げる予定。(阿部さん調達)
 - ◆パーティで、小谷さんのハーモニカ演奏というかグループの歌をお願いする。
 - ◆予算総額は10万円、これを婦人会にお渡しして運営をお願いする。
- ◎ 聖週間について：
 - ◆聖週間のミサ時間を、ミサ後花坂さんが伝える。
- ◎ 横浜司教館・教区事務所新築 感謝ミサの件：
 - ◆4月29日午後1時30分より山手司教座聖堂で執り行われ、司式は梅村司教様。
 - ◆花坂委員長が代表で出席(中和田教会からはお祝い10万円を謹呈)する。希望者の参加も歓迎。
- ◎ 青少年活動費(切手代、教会報送料など)：
 - ◆昨年度は5万円使ったが、本年度は3万円出費予定。
- ◎ 4月8日の大掃除の際、U字構の修理依頼(危険なので)に基づき、福島さんが調べて修理代を見積もる。
- ◎ 新口語訳の「主の祈り」「栄唱」「聖母マリアへの祈り」を聖堂の入口に典礼委員が準備する。

壮年会だより

<4月16日(日) 9名出席>

【報告】

- ◆教会委員会…4月9日の堅信式と祝賀パーティーの進め方を検討し、夫々の準備状況を確認致しました。
- ◆第5地区宣教委員会
 - (1)大聖年にむけて教区の巡礼地、聖母の園において計画されていた、野外ミサやイベントが、状況の変化に伴い計画を見直すことになりました。(石井さん)
 - (2)湘南短期キリスト教セミナーの現在の状況は、講師の人選と依頼を進めているところです。(七浦さん)

【議題】

- ◆5月の聖書朗読者。5/7…竹内さん 5/28…七浦さん
- ◆小谷さんがこのたび、格調高い音楽コンクールで、目出度くハーモニカ演奏・アマチュア日本一になられたことは、皆様すでにご存知のとおりです。つきましては壮年会として、この快挙を祝福し、記念品を贈呈することを決定致しました。
- ◆御本人の御希望により記念品は、色紙に会員のよせ書きとなりました。ささやかですが、お祝いのミニ祝宴を5月の定例会の日に予定しています。その折、本選会の興奮を伝えるビデオの放映がございます。

【ご連絡】

- ◆3月に御葬儀をなされました山中様より、壮年会に手伝いの御礼が届いております。
- ◆堅信式が土足のままだったので、お聖堂の床が汚れました。4/22日(土)10:00から床のワックスがけをいたします。ご協力をお願いいたします。
- ◆御復活の御ミサは、10:00から。つづいて御聖堂で持ち寄りパーティーを行ない、親睦を深めたいと思います。

【その他…意見交換】

- ◆教区の最近の情勢とか傾向(聖職者の不足、信者数の伸び悩み等に伴う数々の対策を想定)を見ると、今後教会間の交流を益々深める必要は勿論であるが、特に教会の各層同士の交流が重要な事と思われまます。例えば青年会同士、婦人会同士とか。(石井さん)
- ◆関連して、教会像の将来を想定する時、整理統合と言う行政的な解決もやむを得ぬことと思うが、各教会で培われた主体性や独自性を大切にすべきである。画一的に行き過ぎると無味乾燥なものとなり、味気ない雰囲気支配されることとなり、おのずと足が遠のく恐れがあります。(小野寺さん)



婦人会だより

<4月16日(日) 33名出席>

- ◆堅信式にて、お手伝い御礼
- ◆マリア・アンナ吉田ちかゑさん御病氣入院婦人会代表お見舞い報告
- ◆22日(土)午前10時から、卵ゆで、掃除(ワックスがけ)
- ◆23日(日)御復活のミサ午前10時、ミサ後、持ち寄りパーティ
- ◎ 宣教委員より、聖母の園にて10月の第3か第4週に第五地区の催しを検討中
- ◎ 遠足について、途中参加また現地参加歓迎、大磯駅10時、澤田美喜記念館10時15分到着予定
- ◎ バザーの為に品についてアイデア募集
 - ◆毎週火曜日10時より3時まで奉仕日として、皆さん、頑張っています。
 - ◆現在残っている布を使って、レースのすてきなランジェリー入れ……、花柄の手あみクッション、デニムの若々しいショルダー。など作成中、
 - ◆私は洋裁が苦手だわ という方、旅先で見つけた手作り品、アイデアなども参考にしたいと思います。よろしく、お願いします。
- ◎ ボランティア募集
 - ◆東京の点字図書館の館長さんを助けてあげてください。(障害者情報センターで電話を受ける仕事をしている方)目が御不自由な為、誘導をお願いします。
 - ◆月1回第3(土)12時から4時まで
 - ◆戸塚駅から原宿教会(往復)戸塚駅改札で待ち合わせ
 - ◆問い合わせ、岩崎さんまで

次回例会は5月21日(日)、次回当番はD地区です。

お知らせ

結婚

ヨゼフ 大宮 智
植野ひとみ
4月8日(土) 雪ノ下教会にて挙式
新住所: 〒241-0004 旭区中白根2-29-7 メンフラットB202
Tel. (045) 952-4357

受洗(4月23日)

ヨハネ・ボスコ 美底 光紀
パウロ 内田 賢治郎



広報 なかわだ

今月の予定 第258号

委員会 5月 7日
NCR出張 5月 26日
世界広報の日 5月 26日
サロン 5月 14, 28日
レジオ 5月 12, 19, 26日



2000年 5月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
平成12年 5月 7日



司教の来訪記 四月九日

山崎 正俊



教会がゆれている。地震です。朝。六時半です。昨日は四年振りの「堅信」。無事におわったので、安心して、まだ眠っておりました。司教様と、式を手伝って私を落ち着かせてくれた保久(ヤスヒサ)神父様とが、司教館のほうに帰られたので、昼食にとりかかたら、食卓によりかかって、寝てしまうようなことでした。その折りに見た夢を、もう一度見ながらの目覚めでした。今年八十三歳を過ぎておられる筈の小谷さんが、ハーモニカをお聞かせしておられるときに、こんな巧みな音色を耳にしたことはなかったような気がする。私の耳もとで、司教様がささやかれたので嬉しくなり、「先日の演奏会で、日本一といわれる賞をふたつもお受けになったのですよ。ご本人も驚き、亡き妻への思いがけないお土産(ミヤゲ)ができた喜んでおられましたよ」と、私も、それこそ文字どおりの夢中のことでした。それに、まだ学齢前の「いるか組」の幼児たちが、無邪気に、力いっぱい大声をあげて、調子を合わせて歌ったり踊ったり騒いだりしているのを、ニコニコしながら「いつもこんなことができるのかね」と言ったり、小谷さんのハーモニカの伴奏で、婦人会の奥様たちがお上品に合唱されるのなどにも心打たれておられるのが有難く、私も楽しさで一杯になったのです。

それでも、めったにおこなうことのない儀式の、式次第などのこまかいところは忘れていたから、記念写真なども含めて、終わりまで行き着けたことは、いろいろなことがあったのに、嬉しい半日でした。

十時からの御ミサをお知らせしてあったのに、保久神父様と一緒に司教様は、遅れないようにと早すぎることをご承知で、一時間近く前においでになったものですから、堅信の式次第など忘れて少し困っていますなど、あまり正直でありすぎ、司教様は驚かれるとは、私の平気な自然の表情とは違う常識はずれの挨拶ですと反省しなければならないのですが、そのまま弁解もせず話し続け……。

時間どおりに事はすすみ、共同祈願も、正確にはっきりとなえた武石奈美子さんは、その役を果たしてくれました。受堅者の代表としての岩淵宏毅君の、心のこもった、よどみのない言葉も立派なものでした。教会委員長の挨拶もきちんとまとまった堂々たるものでした。

次の、司教様のミサ中のお言葉は、ここに残しておかねばなりません……

聖地エルザレムの中心にある「聖墳墓教会の大ドーム」は、イエズス様の聖姿を印象付けるものです。巡礼者たちは、大十字架の前にある祭壇に向かって階段を登ります。そのユカには、ひとつの穴があります。誰もがそこに手を入れて祈るのです。それは、十字架が建てられ、イエズス様がその血を流して生命をお捧げになったところ。反対側の階段をくだると、その聖遺体が置かれ、三日目に復活なさったところ。ご受難とご死去をとおして、天国への道が確かなものとされたのですよ。イエズス様のお招きにお応えできる、忘れてはならない場所。あの聖足跡を踏み行く者の、まことの誓いのできる場所なのです。自らの愚かさを認め、赦しを受け、償いをはじめる者の覚悟を強めるための、神様の「おもいやり深さ」を心身に刻みつける信仰宣言・「堅信」の場所なのですよ。



カナパタールに登って (その2)

山田 孝信

10/21 今日はナムチェバザール(3446m)への登りである。最後に600mの急登があるが、高山病の本に書いてあったようにゆっくり登る。ここでは早くも高山病の症状が出る人がいるとのことであるが、我々パーティーは軽い頭痛程度で全員元気であった。

ここで水分補給について触れておこう。テントの一日はキッチンボーイの「ティブリーズ」で始まる。300ccほど入るステンレスのカップに紅茶をなみなみと注いでくれる。朝食はおかゆに紅茶がつく。紅茶、ミルク、お湯はそれぞれヤカンにたっぷり入っており、お代わり自由である。朝食が終ると、水筒にお湯を入れトレッキング中の飲み物とする。昼食地に着くとまず紅茶が出る。ほどなく昼食になるが、食後はやはり紅茶である。宿泊地に着き4時頃ティータイムになる。ジュースか果物の缶詰、ビスケットなどがでる。夕食は高山病によいという「にんにくスープ」に紅茶。というように一日を通して4杯は充分にとっている。その代わり、水分とりすぎで夜何回もトイレに起きる。用心のために利尿剤を持っていったが、幸いにも使わずにすんだ。

10/22 今日は高度順応日である。近くの丘に出かける。ここからの眺めは素晴らしく、エベレスト、ローツェなど8000m級の山々がずらりと並んで見えた。雲の合間から見える山々は迫力があり、ここでスケッチをした。今日は絵葉書を買って自宅に出した(但しこのハガキは家には届かなかった)り、売店を見てまわり毛糸の帽子を買ったりして一日をのんびりと過ごす。



シェルパと二人で(4640m地点)

10/23 ナムチェバザールからクムジュン(3780m)に向かう。途中日本人の建てたエベレストビューホテルに立ち寄り、8000m級の山々を眺めながらコーヒータイム。クムジュンは植村直己がエベレストに登るためのトレーニングを行なったところ。またヒラリーが現地の人のために建てたヒラリースクールがある。

10/24 クムジュンよりタンポチェに向かう。一旦標高で400mほど降り、橋を渡る。ブンキタンガ(3250m)で昼食をとる。標高で500mの長い登りを終ると草原状のタンポチェ(3867m)に着く。ここには大きなコンパ(寺院)があり、お祈りの声が聞こえる。付近には赤や黄色、色とりどりのテントが張られているが、我々は奥の方にテントを張った。隣のテントには偶然日本人の夫婦がおり、話によるとカナパタールを目指したが、高山病になり途中から引き返したとのこと。

10/25 コンパから聞こえてくるドラや法螺貝のようなおおきな音、お祈りの声に起こされる。今日はディンポチェ(4410m)に向かう。4410mは初めての体験であり、頭痛、食欲不振などの高山病の症状が現われ出した。ちょっと体を動かしても息切れがし、酸素が薄いのが実感としてわかる。

10/26 今日は高度順化の日である。高度順化の日といっても只じっとしているのではなく、現在地より少しでも高い所に登り、高度に体を慣らすことが必要である。標高で約300m高いチュクン(4730m)を往復してくる。さすがこの辺まで来ると頭痛、息切れなどが激しくなり、歩く速度は更にゆっくりとなる。毎日が高度との闘いである。夕食はそろそろネパール料理にも飽きかきたので、コックさんに頼みチンゲン菜のおしとし、おかゆ、ガーリックスープ(これが高山病に一番よいとのこと)、野菜炒めなど日本料理に近いものを作ってもらう。しかし食欲不振であまり食べられない。

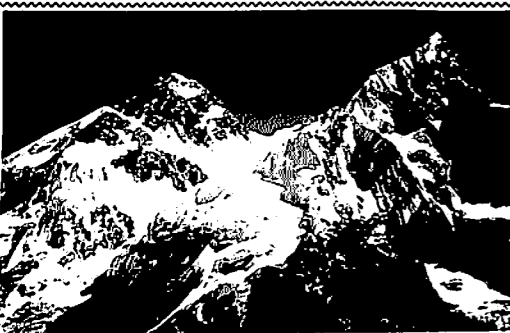
10/27 頭痛などの症状が改善しないので、今日も高度順化日とし、裏山(4630m)に登る。

10/28 トウクラまではやや平坦な道が続く。橋を渡ってから標高差300mのきつい登りがあり、なかなか足が進まない。登りきった所が広い平坦地で、多くの人々が休憩していた。我々もここで休憩をとる。前方の丘にはエベレストで遭難した人々の慰霊碑がたくさん立っている。やがてロブチェ(4930m)に到着。この高さまで来ると空気は更に薄く息苦しい。気温もかなり下がって寒さが身にしみる。

10/29 今日はいよいよカナパタールの頂上を往復することになる。距離も今まででいちばん長く、時間もかかるので、朝4時に起床、朝食後5時25分にヘッドランプをつけ出発。平坦だった道もゴラクシェを過ぎた所から急な登りになる。酸素不足の体ではなかなか足が進まず、何度も休憩をとりながらやっとのことでカナパタール(5545m)へ到着。メンバー4名全員登頂を喜び合う。ここはエベレストの展望台と言われるだけあって、間近に見るエベレストは迫力がある。その他ローツェなど8000m級の山々がずらり勢ぞろい、圧巻である。遂に登頂できたことに感無量で、満足感を胸に帰路につく。

10/29 これからは下るばかりで、高山病の心配はない。どんどん下る。登りに10日間かかった所を4日間で下り、11/2に出発地ルクラに着いた。長かった14日間の山旅も今日で終りである。

年齢(65歳)のこと、体力不足などの不安を抱え、高山病とも闘いながら、どうにか登ることができ、山に登り始めて15年になるが、今回の登山がいちばん心に残るものとなった。思い切って決断して本当によかったと思う。



頂上からエベレストを望む

寒い日のあたたかな一日

望月 ふみ代



その日は朝から寒い日だった。犬の散歩用のジャンパーを着込み、長靴をはいた出で立ちで、私はMさん、Oさんと共にある農家の畑に向かった。

何日か前、Mさんから「市場に出せないキャベツがたくさんあるので、取りに行きたいんだけど手伝ってくれない？」と電話があり、出かけることにしていた。Mさんの考えでは、農家の方が折角下さるというのだから、教会のみなさんに安く買ってもらえれば、婦人会の収入にもなるし、みなさんも喜ばれるのではないかということだった。

教会で待ち合わせをして、早速車に乗る。たまたまそこに居合わせたOさんも「一緒に行きたい」と言うので三人で出かけた。畑には、鳥に半分食べられたのやら、緑色のフンがのっかっているのやらも混じった状態で、たくさんのキャベツがまだ残されていた。そこに農家のご主人がやって来て、「春キャベツや大根、人参も持っていいよ」と言ってくださったので、喜んで頂くことにした。

欲張って結局三日間も続けて通ってしまった。集会室の前の軒下に積まれた野菜の山を見てビックリ。「こんなに欲張って取ってきたけど、ほんとうに売れるかしら？」と少々心配になってきた。畑で取っているときはとても楽しかったけど、現実には「これはきびしいかもしれないぞ」と思った。

Tさん、Mさんが「夕方のごミサに来られる人から売ってあげる」と声をかけてくれたので、料金表を書く。本番の日曜日にも、心配をよそにみなさんがどんどん買ってくださり、Kさんのように大量に買ってくださる方もあって、なんとか売れ残りも少なくなり、ホッとした一日となった。その後、残った分は刻まれて、教会の台所でよい香りを放ちながら切干大根になっている。

2000年4月9日 堅信式 おめでとうございます!!

- | | |
|-------------|--------|
| ラウレンツィオ | 岩淵 宏毅 |
| エリザベト | 小野 イク |
| アグネス | 大田 貴子 |
| フランシスコ・A | 瀬尾 勇哉 |
| モニカ | 高木 由美子 |
| マリア・インマクレータ | 武石 奈美子 |
| ヨハネ | 武石 真太郎 |
| フランシスコ | 武石 由佑紀 |
| クララ | 橋本 侑佳 |

この度、たくさんの人達の祝福を受けて、司教様に導かれ堅信の秘跡を授かりました。今後も益々信仰を深め、家族や私の周りの全ての人達に、愛と幸せがおとずれるように努力していきたいと思います。神に感謝。

モニカ 高木 由美子



4月9日に堅信の秘跡を授けて頂き、大きな喜びと感謝に身のひきしまる思いでございます。これからも教会の信仰を固く守り、力強くあかすことを改めて自分に言い聞かせております。司教様、神父様はじめ教会の皆様、本当に有り難うございました。神に感謝。
エリザベト 小野 イク

ミサ 当番表 (2000年5, 6月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
5/7	復活節第三主日	壮年会	美底
5/14	復活節第四主日	青年会	岩淵
5/21	復活節第五主日	婦人会D地区	森田
5/28	復活節第六主日	壮年会	大宮
6/4	主の昇天	壮年会	美底
6/11	聖霊降臨の主日	青年会	岩淵
6/18	三位一体の主日	婦人会A地区	森田
6/25	キリストの聖体	壮年会	大宮

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel. 802-6258)迄お申し出下さい。

